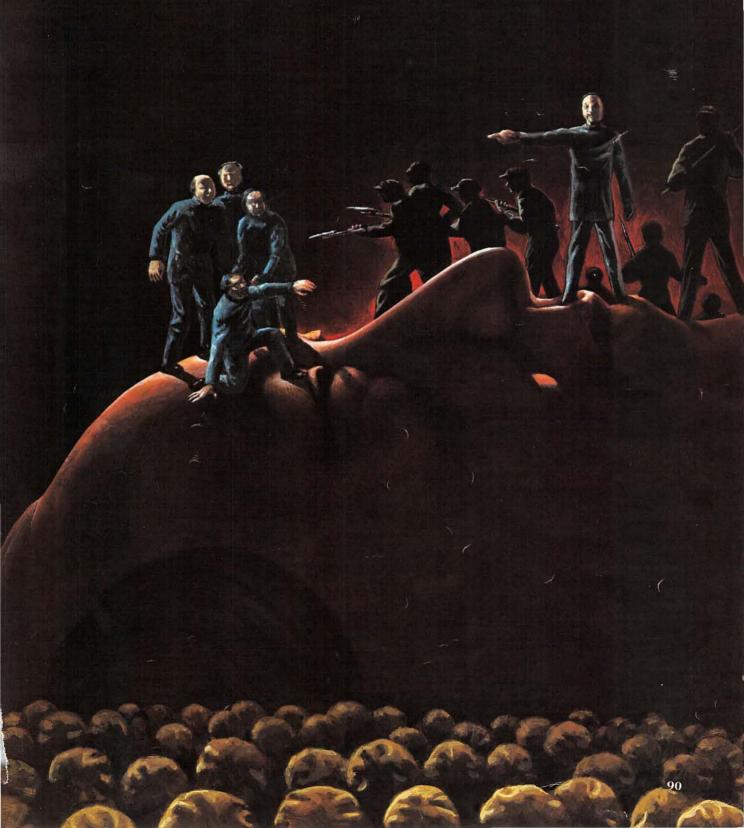


主朝の終末に見た人間ドラマ

中嶋嶺雄

王朝の終末に見た人間ドラマ 『PLAYBOY』1月号-1977.01.00



宮廷革命

を読んだその男(華国鋒)が、『帝王』の ぬうちに "帝王"の霊前で団結を誓い弔辞 事態の展開が早く、1ヵ月の「喪」も明け

際して、ある、上品 家が、毛沢東の死に れないある高名な作 た青年』としか思わ う見ても、遅れてき その作家によると、 文章を綴っていた。 な、雑誌に情感深い なことを推測する者 とであり、そのよう 穢す不届き千万のこ か、権力闘争が起る 政治的に混乱すると 毛なきあとの中国が は、上品、であり、 しいほど毛沢東政治 べることさえ残らわ の、下品さ、にくら 毛沢東政治の品格を とか推測するのは、 私からすれば、ど

8億人民の敵として罵倒した。文革派上海グループの今回のシケーデター未

*帝王、の霊前で弔辞を読みあげた華国鋒は、*喪主。の

といいだし、「チュー、チュー、チュー、 までが、一転して、「4悪人、4公害」だ ピッ、ピッ、ピッ」と呼んでいた子供たち 夫人ら上海グループ「4人組」の指導下に として、大衆の面前でめちゃくちゃに悪罵 側近を、喪主、もろとも一網打尽に捕えて るを得ない。 のような中国の現実には思わず慄然とせざ 害を除く〉とあざけっているのである。こ 「ピー・リン(批林)、ピー・コン(批孔)、 しているのである。このあいだまで、江青 しまったばかりか、いまや8億人民の公敵 チュー、チュー(除)、スーハイ(4害)」(4

冷厳な現実によって、見せてくれたのであ 数の、インテリ、諸氏の、愚、をはからず 開は、毛沢東信者とも思われるわが国の多 も、これら諸先生が毛沢東の死を悼んで書 いた雑誌論文がまだ書店に出ているという こうして、過去1ヵ月の中国の事態の展

遂事件、は、毛以後を待ちかねていたかのように表面化し凄絶な「後継者争い」となった。しかし、毛王朝、の 崩壊過程の裏では権力中枢の知的・道徳的退廃が進行し、その内幕が明らかにされるにいたった。これは

制へのゴマすりを始める者、論理のすりかえ それどころか、なかにははやくも華国鋒体 っていたら、どうもそうでもないらしい。 を北京に派遣するよう要請でもするかと思 たいして、毛沢東夫人救出のための救援機 あたりで抗議デモを組織し、わが国政府に 打尽にされた現在、一斉に決起して有楽町 女史ら文化大革命の中心的な担い手が一網 なかったこれら、インテリ、諸氏は、江青 し、中国を礼賛し、毛沢東をたたえてやま った、などといっている。 精神をねじまげたのはこれら「4人組」だ に悪者であったか、「毛沢東思想」と文革 をおこなう者が出はじめて「4人組」はいか 毛沢東神話に陶酔し、文化大革命に共鳴

毛沢東主席の死後、1ヵ月の喪が明けないうちに、

崩壊過程の裏では権力中枢の知的・道徳的退廃が進行し

毛沢東神話にとりつかれた人びとへのショッキング・レボートである。

江青をふくむ「4人組」を逮捕、

発表された、数多く 毛沢東の死に際して

たり手にとってみる の雑誌論文をさしあ

に、当の中国の方が

ンテリ、諸氏の、な 神話に憑かれた 、イ 作家のように毛沢東 それにしても、この とをいうのであろう。 まさにこの作家のこ 背肓に人る」とは、 うのである。「病、 毛沢東は偉大だとい

んと多かったことか。

「4人組」と文化大革命の中心的な担い手が 先に、陳伯達、林彪そして今回はこれら

> 国人民のあいだでは、そんな論理はとても の正当性を主張し得るであろうか。当の中 通用するものではない。 すべて失墜してなお、文化大革命の勝利とそ

徳的な退廃がある、といいつづけてきたつ 中国の権力中枢には、おそるべき知的・道 けてきたつもりである。、毛王朝、ともいえる ないから、みずからの先見の明を誇示する 崩壊のドラマをそのシナリオからプロットに 実は決してそんなものではないといいつづ の幻想性にさいなまれながらも、中国の現 つもりはないが、ただ、わが国の中国論議 いたるまですべて予想しつくしたわけでは 私自身はといえば、この衝撃的な。毛王朝

24日号)ほかの一連の論文を執筆したゆえ は解体する」(『朝日ジャーナル』76年9月 い。毛沢東の死に際して私が「毛沢東体制 ないことを確信していたからにほかならな 革命はいささかも社会の底辺に根づいてい きたが、それは、彼らが民衆の支持を得な ゆる文革派上海グループの凋落を予見して 死後の中国におけるこの政治的混乱といわ な中国の現実を直視しつつ、私は、毛沢東 廃はないと私は考えるのである。そのよう 民」の名において正当化することほどの退 の宮廷を形成し、それを「革命」とか「人 つつも、みずからは、旧中国の王朝さながら い「丹頂鶴」のような存在であり、文化大 つまり、権力によって道徳を「教化」し

の末路や『毛王朝』の内幕にかんして、わ 報によって、『毛王朝』の内幕が次々に暴 も早かった。しかも、相次ぐ北京からの情 いたことが本当だったのである できず、いわば茶飲み話として囁きあって れわれがさすがそこまでは筆にすることが はかたずをのんだことであろう。江青夫人 露されはじめるにおよんで、多くの人びと それにしても、事態の展開は、あまりに

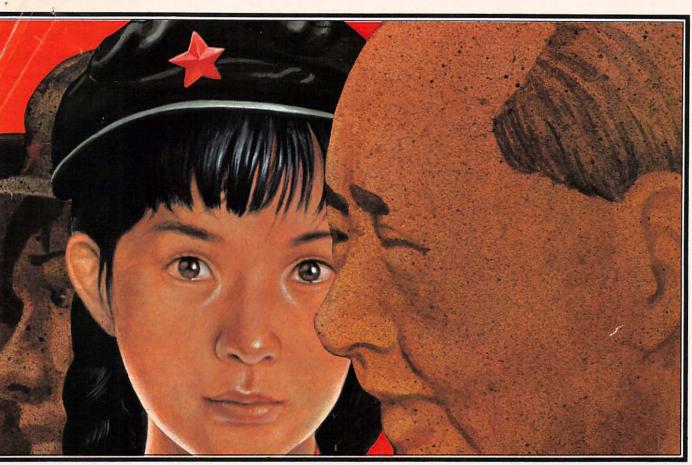
、毛王朝、の内幕

毛沢東の死を悼む中国当局の一連の公式

んである。

る。われわれの常識では、「身辺の要員」 の幹部になった張治中の娘だといわれてい 首脳として中央に列したのであった。 あくまでも「政治局員」として、つまり党 克清)とはちがって、遺族の席には列せず、 は周恩来未亡人(鄧穎超)や朱徳未亡人(康 かったばかりか、その葬儀に際しても彼女 江青夫人はこうして「身辺の要員」ではな こそ、その妻・江青夫人であるべきだが、 はかつての国民党軍の将軍でのちに新中国 は張玉鳳以下、女性の名前である。張玉鳳 42名にものぼっていた。しかも、その大半 が一団となって参列していたが、その数は 要員、医療、看護要員」がその死を悼んで り、と感じたのは、「毛主席の身辺の工作 言葉を献じているところであった。追悼式 の記事や論文のなかで、私自身が、やっぱ (葬儀)に際しても、これら「身辺の要員」

ら姚文元の名において文革の狼煙をあげさ 初期に毛沢東の北京脱出をたすけ、上海か る。毛沢東が、党内で孤立化していた文革 よぶ範囲。で形成された関族だったのであ 物であり、江青夫人のいわば、お色気のお の舞台でもあった上海を拠点にはやくから という権威によって、みずからの女優生活 党最上層の地位についたのである。そうし 経て、これら上海グループはついに一挙に うひとりの側近・陳伯達を葬り、林彪異変を であったが、やがて江青らは、毛沢東のも 評す」)のも江青夫人であり、上海グループ せた(姚文元「新編歴史劇『海瑞龍官』を が、想えば、張春橋、姚文元、王洪文らは、 上海グループが形成されてきたのであった 文芸サロンをつくり、こうして、いわゆる いずれも、これら文芸サロンにつらなる人 一方、江青女史は、その美貌と主席夫人



ことも事実であった。 さまざまな関係が中国国内で囁かれていた

らずも暴露されたのであった。 う。こうして、毛沢東王朝、の内幕がはか 年来、江青は、帝王、と別居していたとい く北京からの報道によると、すでにこの3 そのことがただでさえヒステリックな江青 発表にあるとおり、、帝王、の身辺の世話 二十重に囲まれていたのである。先の公式 とアメリカ帰りの通訳兼秘書・唐聞生であ 出ていた女性は、外務次官でもある王海容 沢東の身辺には、先の張玉鳳をはじめ、何 の男との関係を疑っていたらしい。ともか たほど、江青を疑い、あるいは江青と3人 に、江青らの「4人組」を信頼せず、「周 って、江青夫人ではなかったのであろう。 は、これらの、女官、がおこなったのであ ったが、『帝王』はこれら、女官』に十重 人かの若い女性がつきそっていた。表面に の1、2年は、中南海の奥深く、つねに毛 恩来夫妻がうらやましい」と晩年に漏らし 女史をさらに苛立たせたものと思われる。 方、毛沢東の方は、壁新聞も伝えるよう 一方、毛沢東の方はというと、とくにこ

凄絶な角逐と非毛沢東化

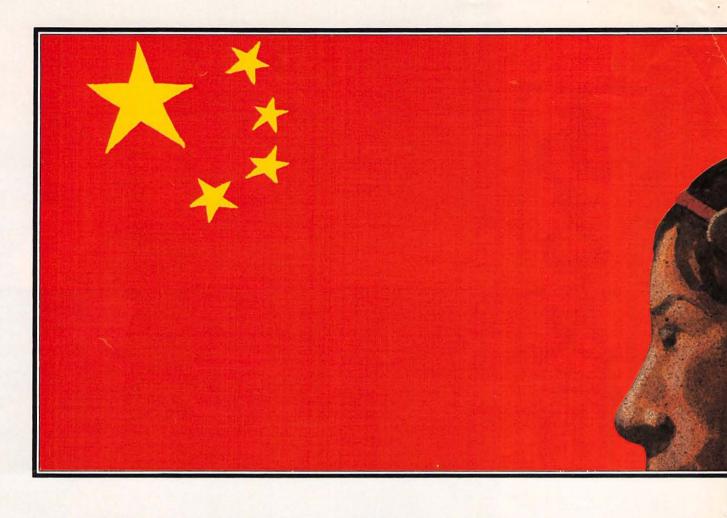
も明けぬうちに、、・喪主、もろとも打ちと ある。それにしても、、帝王、死して「喪」 かなる罪状を数えあげることも可能なので っている。そして、敗北者にたいしては、 同様の「予防クーデター」ではないかと思 ければ、その数時間後にクーデターが起っ ましさ! ってしまったというこの背徳! このおぞ いかなるレッテルを貼りつけることも、い について、私は、その真実は、林彪異変と ていたと伝えられる今回の衝撃的なドラマ 10月7日に「4人組」を一網打尽にしな

熱化していたのであり、皮肉にも「4人組」 たほどに中国の権力中枢における角逐は過 だが、あえてそうしなければならなかっ

たのは中国が「喪」に服しているからであ 、異変:にも気づかず、国慶節が異例であつ 放軍報』の3紙誌共同社説はついに発表さ そのうえ、恒例の『人民日報』『紅旗』『解 かれるという異例の行事がおこなわれた。 組」を含む指導者が並んで「座談会」が開

であった。にもかかわらず、これら一連の れず、「人民日報」の単独社説が出ただけ るかの闘争」だったのである。 その熾烈な状況は、まさに「喰うか喰われ がこれまでしきりに強調してきたとおり、

のような行事がなく、天安門楼上に「4人 発を画すべき10月1日の国慶節には、従来 かくして、本来は、毛沢東以後の中国の出 間をめぐっても一致できなかったのである。 れたり、一部には半旗が残っていたりして 旗) に戻っているのに、まだ喪章がつけら 張りはじめていたのであった。しかも、『人 葬儀をまたずして、このような状況が存在 文字を改竄したのだというのだが、すでに おりにやる)という毛沢東の遺言のうち3 は、「按過去方法か」(これまでの方法ど らかにされたところによると、「4人組」 る書」にもこの言葉はなかった。のちに明 布告「全党、全軍、全国各民族人民に告ぐ 9月9日、毛沢東の死とともに発表された 華国鋒の弔辞には出ていなかったし、また、 だが、このように頻出しはじめた言葉が、 の言葉が「語録」として登場するのである。 異なって、以後、10月4日まで、連日、こ 「毛主席語録」の欄に、「按既定方針办」(既 民日報』を見ていると、毛沢東葬儀の2日 いて、いわば服喪期間という政治体戦の期 し、「喪」が明けたかに見えたし、北京で 民日報』は9月22日から紙面の黒枠をはず し、「4人組」はプレス・キャンペーンを 葉が登場しはじめた。しかも従来の慣例と 前、すなわち9月16日から紙面の右上部 も天安門広場の半旗が普段の五星紅旗(国 定方針どおりにやる) という見慣れない言 これら「4人組」の影響下にあった『人



そして、10月10日、周知のようにこの日は でいると解説しつづけたのは、わが国の新 り、8億人民はいま、毛主席の死を悲しん

らに「鄧小平批判」という言葉も消えてし 10月29日付の『解放軍報』社説からは、さ 劉少奇、林彪の名前が消えているのである。 ればならない」とだけなっていて、すでに らの巻き返しにひきつづき反撃を加えなけ とに、「深く鄧小平批判をおこない、右か べているだけであって、さらに驚くべきこ しかも「勝利の成果」という、過去形で述 の勝利の成果を強化発展させ」と1度だけ 革命については「プロレタリア文化大革命 の陰謀を粉砕し……」と述べて、文化大革 化大革命を強調し、「ひきつづき一連の革 なったのである。しかも、注目すべきこと なり、翌10日の新指導部による共同社説と 社説が発表されたのである。のちに明らか 記念日だというのに、この日に3紙誌共同 文字通りの双十節でこれは台湾政権の建国 下に入った10月10日の共同社説は、文化大 鄧を打倒目標にしているのに、華国鋒体制 命を今後も継続すべきことを述べ、劉、林 おしすすめ、劉少奇、林彪、鄧小平による 命運動とりわけプロレタリア文化大革命を から『人民日報』が華国鋒指導部のものと になったように、事件は7日に起り、9日 プロレタリア階級独裁転覆、資本主義復活 に、10月1日の社説は、いたるところで文

定を消算する」という際の「算膜」という タをつける」という言葉(中国語では「勘 よう。中国では、この間、一貫して、「カ くかもしれないことを示唆しているといえ おり、事態の展開がとめどもなく広がりゆ 脱文革、反文化大革命にあることを示して なるであろうが、はやくも、将来の方向が をかかげて毛沢東路線に反対する」ことに うか。当面、新しい指導部は「毛沢東思想 このような変化は、なにを物語るであろ

と結んだ詩を人民英雄記念碑に張りだした 封建社会は再び返らず……マルクス・レー も思かきわまれるものにあらず、秦始皇の して、「中国は過ぎし中国にあらず、人民 えよう。まさに去る4月の天安門事件に際 策的には周恩来=鄧小平路線の勝利だとい 後まで悔い改めなかった」のである。そし をはられ、激しく批判されたときにも「最 ていることを知りつくしていたがゆえに、 農業、国防、科学技術の4つの現代化)を 話から離脱して「4つの現代化」(工業、 治の転換を求めていた鄧小平は、毛沢東神 級闘争」の"理論"を絶対化してきた19 しあたりは文化大革命の10年間が「算服」さ なりし目には、われら酒を供えて祭らん」 さがれ!」と述べ、最後に「4つの現代化 ニン主義を骨抜きにする秀才どもよ、引き して復活させたのである。このことは、政 であった「4つの現代化」に言及しはじめ、 求める潮流が中国社会内部に広く存在し 兆候もないではない。いちはやく毛沢東政 ようが、すでに鄧小平が今回の政変の背後 鄧小平復活が、当然のこととして考えられ まっていると私は考えている。もとより、 はやくも非毛沢東化(Dc-Maoization)が始 暖」されるのではなかろうか。こうして、 58年以後、つまり晩年の毛沢東政治が「算 れ、やがて毛沢東がその「継続革命」と「階 言葉)が流行っていたといわれるだけは、さ て華国鋒指導部は、はやくも、一時タブー に大きな役割りをはたしていたと見られる 「4人組」によって「走資派」のレッテル "反革命分子、が、いま、 ついに勝利したの 「4つの現代化」政策を当面の基本路線と

華国鋒体制の行方

する積年の怨念や憎悪が深く広く潜在して いただけに、当面、華(なべージへつづく) ら文革派上海グループの「4人組」にたい 中国社会内部には、すでに久しい以前か

十分すぎるほどの時間であった。 果的な利用法を考えていた。2年間は、そのためには、 然のように、KGB職員で、二重・三重の網をはった。 彼らは、ベレンコを泳がせながら、そのもっとも効 そこに、CIAとベレンコが、ひっかかったのである。

満し、それがいっせいに日本・アメリカのほうに照準 手を結び、ソ連式の近代兵器が、あの広大な大地に充 をあわすことができたら、世界は様相を一変するだろ 中ソ関係は、世界戦略上最大の課題であった。中国と の病状がおかしい、という情報が入ったのである。 そして、ソ連が、待ちに待ったときがきた。毛沢東 アメリカにとってと同じように、ソ連にとっても、

て、待っているしかなかった。 大な人物がいるかぎり、ソ連も、ただ、手をこまねい だが、毛沢東がいるかぎり、あのカリスマ的な、巨

気に、クーデタが起こるかも知れない。そしてもし、 派の軍人が、圧倒的に多い。偉大な毛が死ねば、彼ら 民兵論を軸にした文革派より、ソ連よりの、近代戦略 な内乱をも、想定しておかなくてはならない。 クーデタが失敗したとしたら、ソ連としては、大規模 は、縮めていた手足を、おもいきり伸ばすだろう。 そのとき、ソ連空軍の出番がくる。親ソ派を援護し、 ときは熟した。前述したとおり、中国軍の内部でも

さに、組みかえてるときだ。 反対派を攻撃するための、対中国戦略体制を、いまま 迎撃・偵察用のミグ25体制から、攻撃用のミグ体制

ず、それでいて知らなさすぎて困らない程度の時間 用になるであろうミグ25に、30時間という、知り過ぎ れてはならないものだ。 搭乗させられていた。 を10ヵ月間、ゆっくりとみせられ、これからはもう不 シベリアへと配置がえされた。いままでの対中国戦略 はじめた。この動きこそは、西側に、ぜったいに知ら へ。大きなプランニングとはこれである。ソ連は動き ベレンコが用意された。完全な監視のもとに、彼は

ってしまえ。われわれは、その混乱の隙をついて、 (ベレンコよ、さあ、おまえさんの好きな新天地へ行 危篤の情報が入った。

気に、攻撃用の対中国体制を作りあげるのだ!)

自衛隊・北海道・千歳基地のレーダーに、ベレンコ

と報道されるようになってきた。 ソの友好回復を準備した、甘いささやきが、ちらちら あざやかな成功であろう。このごろ、新聞紙上に、中 われわれが見なければならないのは、KGB謀略の、 ているにすぎない。この宣伝戦に巻き込まれるまえに、 ついての情報は、たんに、権力を握った側から流され みえる。いま、みそくそに言われている江青派4人に に伝えられた。この裏には、ソ連の強力な支持がほの が、イギリスのデイリー・ミラー紙によって、世界中 に、毛沢東は逝った。そして、ーカ月後、中国の政密 の機影がうつったのは、9月6日。そのわずか3日後

業家から、あるソ連大使館員への紹介を頼まれた。 ている。あるアメリカ人ジャーナリストが、自国の実 員を装うKGB局員と、アメリカ大使館員を装うCI A局員とが、互いにそれと知りながら平気でつきあっ 東京はスパイのフリーマーケットである。ソ連大使館

われた。 記者がアメリカ大使館に仲介を頼みに行くと、こう言 そのソ連大使館員は隠れもないKGBだった。新聞

もらうのがいちばん手っ取り早いよ」 「ああ、グレゴリーか。それならジャックに紹介して ジャックというアメリカ大使館員は、これまた隠れ

もないCIAだったのである。

パンチがきいたかどうか判断するのである。 どちらからともなく顔を見に行く。相手の顔色を見て 東京のCIA局員とKGB局員は、何か事があると

GBが向い合ってお茶を飲んでいた。 たる地下レストランで、ひとりのCIAとひとりのK メリカ大使館)と狸穴(ソ連大使館)のほぼ中間にあ ベレンコがアメリカに連れ去られた目の朝、赤坂(ア

という意味である。 あと、満足したCIAが、こう言って先に席を立った。 「今日はオレのおごりだよ」 ベレンコ事件では気のどくしたな、悪く思うなよ

ンか)その顔に会心の笑みが、ゆっくりと広がってい つくりとコーヒーをすすった。(満塁・逆転ホームラ 席に残ったKGBは、その背中を見送りながら、ゆ

Å

天気の話や東京の物価の話がさりげなくかわされた 是老品機機的基礎機可以 XXXX

PLAYBOY.

世界のエンタテインメント・マガジン/1977・1月号もくじ

1977 JANUARY

アメリカだけかなにゆえに 袖井林二郎

PLAYBOY AFTER HOURS 映画・音楽・ブックス・ステージ・ イヴェント・スポーツ・テレビ・ アート・エロチカ・トラベリング



プレイボーイ・アドバイザー

プレイボーイ・インタビュー

CIAとペレンコ中尉は ソ連KGBの謀略に 踊らされた

70ピクトリアル黒いブーツ



し重山の壺 石原慎太郎



」。 ルパンは帝国主義の

トロエン物語



94ピクトリアル ある友情



おかしなおかしな 総選挙株式会社 天野昭

103 アメリカ暗殺の歴史の機の

カサブランカ 忘却と覚醒への旅

1182-47 神さまのお好きな体位



パーティ・ジョーク

岡太好古

138ファッション 雪の中で君に男の ファッションに ついて語ろう

ヨークはもう死んた



【仕んピクトリアル スクリーンに開いた



ポルノ本番(スキン・フリック)

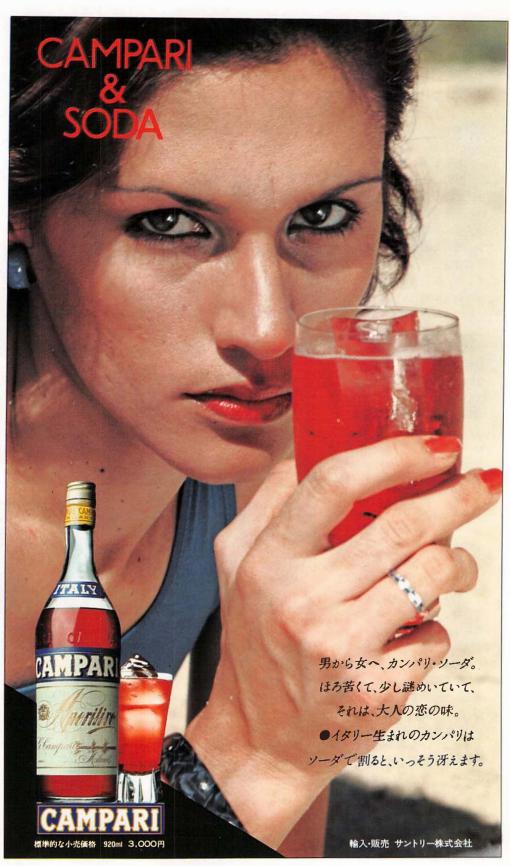
アート・ディレクター・田名網敬— ®アフター・アワーズ・スタッフ 小野耕世(映画) 鍵谷幸信・山野浩一・権田萬治・常盤新平(本) 岩浪洋三・小西良太郎・渋谷陽一(音楽) 石崎勝久(ステージ) 後藤新弥・近藤多喜男(スポーツ) 館淳一(エロチカ) ®カラー・カーツーン翻訳・田村隆一



173 k 光と風に会いたくて 南の島へやってきた 鬼界ヶ島

ンタ・クロースが って来る





EDITOR AND PUBLISHER OF U.S. EDITION HUGH M. HEFNER